

平成18年  
(2006)



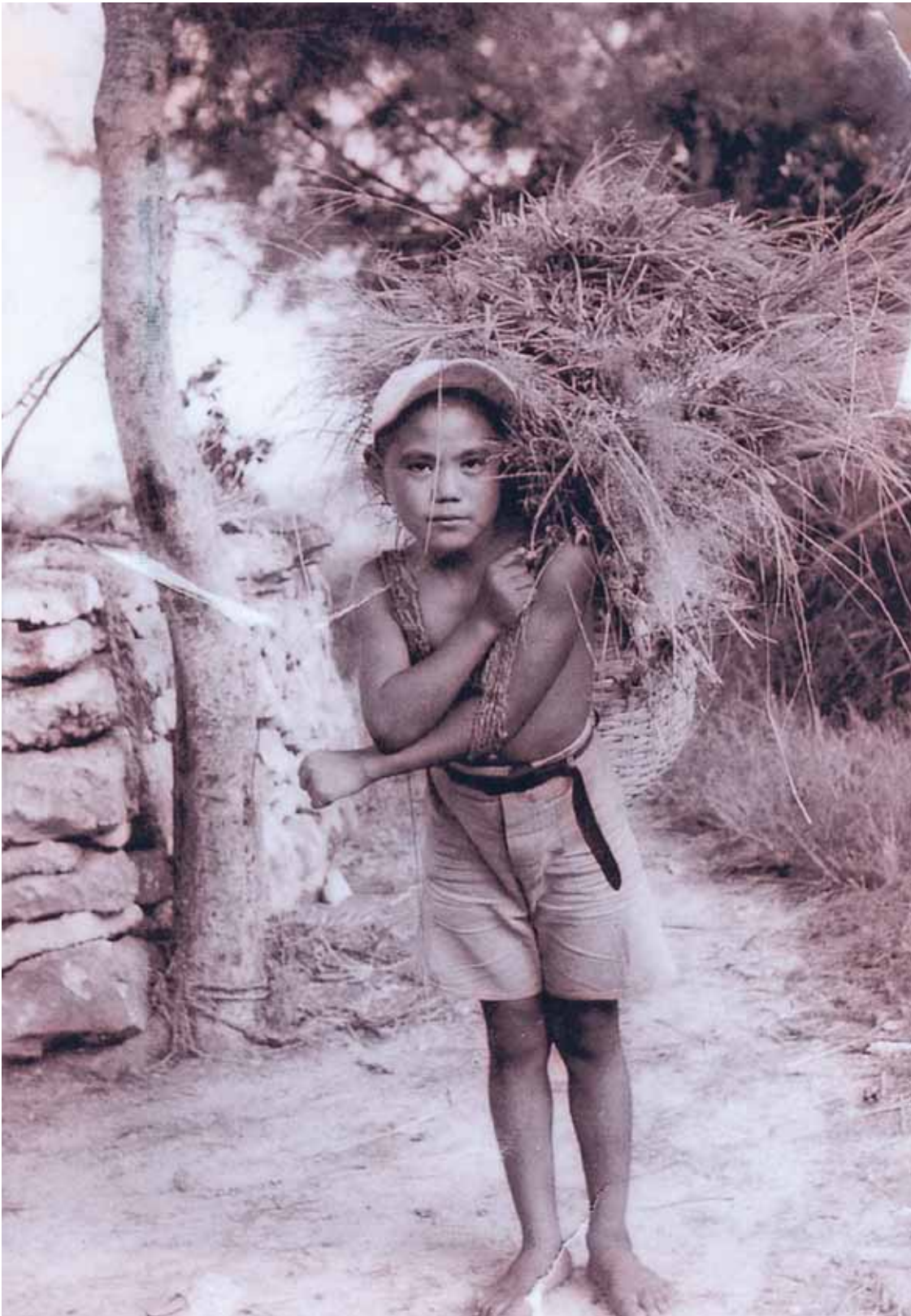
ふ報きかい

8

発行/鹿児島県喜界町役場 ㊟891-6292 電話0997-65-1111 編集/企画課 印刷/南日本新聞開発センター

No.470

● 町村合併50周年記念 ●



あの日

あの頃

馬草取りの少年

昭和二十八年頃の写真です。当時、馬草取りは学校から帰った子どもたちの日課でした。

撮影〓 恵藤 常人(中里)

## 町村合併50周年記念第25回喜界町夏祭り

# しまぬ祭りは大にぎわい

## ～メイン会場 空港臨海公園に移る～

第二十五回喜界町夏祭り(夏まつり協賛会主催)加藤啓雄(会長)が七月二十九・三十の両日、空港臨海公園をメイン会場に開催された。両日ともに太陽が照りつけ、海はまばゆいばかりの輝き。フネインカー競漕終了後は空港臨海公園に移って恒例の演芸、花火大会があった。同会場は、駐車場の確保・交通規制・花火の打ち上げ場所など、数々の問題に直面したが、年に一度の「しまぬ祭り」を成功させようと建友会(町内の建設業者組織)の会員数社に駐車場整備の奉仕作業や協力員らの並々ならぬ尽力をいただいた。相撲大会や花火大会など多彩なプログラムに大勢の町民・帰省客が真夏の祭典を楽しんだ。

### 初日

正午、夏空に空砲の音が響くと同時に、島の「本場所」夏祭り相撲大会で幕を開けた。今回はまず、大学・高校と相撲経験者が集う、見本稽古を披露。小・中学生に相撲道の心構えを迫力ある稽古で伝えた。

土儀では、汗を滴らせた力士の熱戦が繰り広げられ、相撲の妙技を競った。

四百人が参加した御輿パレードでは、「ワッショイ・ワッショイ」と威勢のいい掛け声が響き、担ぎ手は放水を浴びながら沿道を練り歩いた。続く綱引き大会では、例年どおり湾方と赤連方に分かれ、直径約二十センチの大綱を子どもや大人が懸命に引き寄せた。大接戦の結果、今年は湾方が勝利した。

### 夜になると商店街のメイン

ストリートは、歩行者天国に変わり、華やいだ浴衣の若者や甚平姿でよちよちと歩く子どもで大にぎわい。歩行者天国のメインステージでは、奄美芸能島唄研究会青少年部の島唄やエイサー、薩摩の猿廻し劇場などが観客を魅了。ピニングゲームは空くじなしとあって、電化製品・自転車など豪華賞品が当たるたびに参加者は嬉しそうに舞台へと向かった。

### 二日目

祭りの華・フネインカー競漕には、一般・混成・女子の部四十六チームが参加。職場、同級生、スポーツクラブ、集落、高校生の各チームがそろいのユニホームで身を包み、意地と誇りをかけて熱戦を繰り広げた。

女子の部決勝は、華やかさの中に力強さを兼ね備え、レース展開をうまく見極めたママさんバレーチームが大会二連覇を果たした。

混成の部(固定舵)は、雪辱に燃える昨年三位の高岡建設が「今年は例年の倍以上の練習で成果がでた」結果、昨年の優勝タイムを三秒縮めて初優勝を飾った。

一般の部(手舵)決勝には、二年前と同じ峰山建設A、自衛隊A、栄建設の三チームが進出した。大接戦の勝敗を分けたのは、ブイを回ってからの後半。漕ぎ手の呼吸・櫂さばきともにそろった峰山建設Aが僅差をものにした。峰山建設Aは、前年度の優勝タイムを二秒縮めて八年ぶりの美酒を味わった。

各チームが悲喜こもももの記憶に残る熱戦を繰り広げるフネインカー競漕のもう一つの目玉が「漁船パレード」。決勝前に、軍艦マーチの曲にのって、大漁旗を掲げ湾内をパレードするが今回は、漁協が「今年は、海難人身事故が発生したため、同胞として今年の出場を辞退したい」と申し出て中止となった。来年はあざやかな大漁旗で勇壮に湾内を

パレードしてほしいものだ。夕刻になると例年、商店街沿道を賑わせていた地婦連の艶やかな浴衣姿。今年は、空港臨海公園の特設ステージの前に大輪の輪を描き、優雅に踊って祭りに華を添えた。

続く八月踊りは嘉鈍集落。小さい子どもから集落外の人にも参加して代々継承されている集落の八月踊りを披露した。続いて、勇壮なエイサー、奄美を代表する若手唄者・永志保さんの島唄や吾妻・寿扇各流派の舞踊、「薩摩の猿廻し劇場」が観客を魅了した。

歌謡ショーへと移った舞台では、鹿児島市などでライブ活動を続けるユニット「DOKKI・DOKKI(中里出身)」が耳の会員(手話)とコラボレーション。清涼感あふれる歌声に観客は酔った。ショーの最後は「REVOLVER」がビートルズナンバー七曲を披露した。

場内に、カウントダウンのアナウンスが流れると夜空を焦がす二千四百発の花火大会が始まった。「ドゥカーン」と島全体に響きわたらんばかりの音と暗闇に描かれる鮮やかな大輪の花々。観衆は至近距離から打ち上げられる花火の



雄太  
フネインカー競漕  
【一般】 峰山建設A 自衛  
隊A 栄建設  
【混成】 高岡建設 生和糖  
業 峰山建設B  
【女子】 ママさんバレ  
ー 女子バレー 女子ソフト

相撲の部  
【団体】 小学校〃 赤連  
湾A 赤連A 志戸桶 一般  
〃 上嘉鉄青年団 役場A  
自衛隊  
【個人】 小学校4年〃 藤  
原龍太郎 中園竜矢 富田大  
輝 小学校5年〃 初遊太  
久保廉平 朝日郁弥 小学校  
6年〃 長島翔 来龍平 富  
友亮 中学校1年〃 玉智哉  
増田隆司 界智幸 中学校  
2年〃 我原太清 真井大樹  
加藤旭 中学校3年〃 隈  
元拓也 撰和也 栄耕介 一  
般〃 倉橋憲司 久郁弥 榮  
雄太

競技結果

壮大さに歓声を上げ、町村合  
併五十周年記念第二十五回夏  
祭りは幕を閉じた。  
観衆からは、「交通面など  
改善すべき点はあるが会場は  
広々として、清々しい。もっ  
と早くここで開催してほし  
かった」という声もあった。

# ポジティブリスト制度始まる

今まで残留農薬基準が定められていなかった農薬、農畜産物にも基準が設けられました

## ポジティブリスト制度とは

農産物の安全確保が目的で導入された制度で、平成十五年の食品衛生法改正に伴い三年以内の実施が決定され、平成十八年五月二十九日から施行。国内外で使用されているすべての農薬などに残留基準が設定され、それを超えた食品の流通を原則禁止すること

## ポジティブリスト制度の注意点

この制度が導入されたことで最も注意すべき点は、散布した農薬が飛散（ドリフト）し、ほかの作物に影響を与えること。

例えばサトウキビの近くで

ゴマを栽培している場合、これまでサトウキビに散布していた農薬がゴマに付着しても、ゴマに対する使用基準を順守していれば問題はなかったが、今回の制度では、ゴマからサトウキビの農薬が残留基準値以上検出されると、流通の規制を受けることとなる。こうなると基準値を超えた作物は廃棄や流通が禁止される。

## さとうきび主要農薬（液剤タイプ）の他作物への影響

表の中で作物名の横に記載されている数字は「残留基準値 = 単位：ppm」です


**改正点**  
二百四十六種類の農薬については引き続き残留基準値を設定し、基準値が設定されていなかった農薬には、国際基準などを参考に「暫定基準」を設定。さらに国内外に基準値がないものは「一律基準」を設定した。

(1) 一律基準とは人が健康を損なうおそれのない量0.01ppm



さとうきび	0.05
カボチャ	0.05
メロン	0.05
トマト	0.05
マンゴー	0.05
ミカン	0.05
ゴマ	0.05

カーメックス - D .ダイロン




さとうきび	0.5
カボチャ	0.2
メロン	0.2
トマト	0.2
マンゴー	0.2
ミカン	0.2
ゴマ	0.2

アージラン液剤




さとうきび	2
カボチャ	0.5
メロン	0.5
トマト	0.2
マンゴー	0.2
ミカン	0.5
ゴマ	0.2

三共の草枯らし




さとうきび	2
カボチャ	0.5
メロン	0.5
トマト	0.2
マンゴー	0.2
ミカン	0.5
ゴマ	0.2

ラウンドアップハイロード




さとうきび	0.05
カボチャ	0.08
メロン	0.08
トマト	0.2
マンゴー	0.05
ミカン	0.01
ゴマ	0.05

24 - D石原アミン塩



さとうきび	0.3
カボチャ	0.05
メロン	0.05
トマト	0.05
マンゴー	0.05
ミカン	0.05
ゴマ	0.05

ブリックロックスL



さとうきび	0.5
カボチャ	0.5
メロン	0.01
トマト	0.5
マンゴー	0.01
ミカン	0.01
ゴマ	0.01

センコル水和剤

# 公金の取扱いが変わります

## ～ 指定金融機関制度スタート～

### 農薬の飛散防止対策

農薬の飛散防止には次のような対策が考えられる。

- ・ 風力・風向に気をつけ、農薬を散布する方向や位置に注意する。
- ・ 散布する器具（ノズル）等は

適正基準（圧力等）で取り扱う。隣接する圃場の違う作物にも影響の少ない農薬を使用する。

しかし、細心の注意を払って農薬の飛散防止に努めても困難な場合がある。周辺の圃

場生産者同士の連携や地域ぐるみでの対策が必要になってきている。

また、家庭菜園においては、市場に流通した食品を対象にしている制度であるため、直接的には農薬の使用は

関係ないが、周囲に市場に出る作物があった場合は、農薬が飛散し影響を与えるケースも考えられる。農薬を使用する際は、一般家庭でも十分使用基準を順守することが求められている。

本町では、平成18年9月1日から「指定金融機関制度」が始まります。制度へのご理解とご協力をお願いします。

### なぜ、指定金融機関を設けるのか？

町民の皆様から納めていただく収入や町民へ支払う出納事務を、その道に熟達した金融機関に取り扱わせることにより、「正確性」と「安全性」を図ります。また、口座振替による支払いができることで町民サービスが向上します。

### ①が総括店となります。

これまで収納事務取扱店としていた町内全ての金融機関および郵便局を引き続き「収納代理金融機関」（写真②）として指定します。それぞれの金融機関窓口で喜界町の公金を納めることができます。

### ②が どう変わりますか？

収納は、ほとんど変わりません。納付書を持参して、今までどおり金融機関や郵便局の窓口で納めてください。役場にも指定金融機関の窓口が設けられます。

### 窓口での支払いは午後三時まで。受け取りを口座振込に！！

役場窓口での町民への支払いは午後四時まででしたが、九月一日からは午後三時までとなります。

### 納め忘れのない 口座振替のご利用を！！

「口座振替」は、納め忘れもなく便利です。また、金融機関等に支払う手数料（町の負担）も少なくて済みます。

指定金融機関制度を導入することで、希望すれば債権者本人名義の預貯金口座へ振込むことができます。役場まで

受け取りに来る必要がなくなり、大変便利です。受け取りも口座振込をご利用ください。



② 鹿児島銀行喜界支店



① 指定金融機関  
あまみ農業協同組合  
「あまみ農業協同組合」喜界支所（写真）




③ 日本郵政公社喜界郵便局




④ 奄美大島信用金庫喜界支店



⑤ 奄美信用組合喜界支店

	さとうきび	0.5
	カボチャ	0.01
	メロン	0.01
	トマト	0.01
	マンゴー	0.01
	ミカン	0.05
	ゴマ	0.01

トクチオン乳剤

	さとうきび	0.1
	カボチャ	0.2
	メロン	0.05
	トマト	0.2
	マンゴー	0.8
	ミカン	0.2
	ゴマ	0.01

スミチオン乳剤

# 国民健康保険・老人保健 制度が変わります

## 判定基準表

所得区分	判定基準
一般	一般とは 「一定以上所得者、低所得者 ・ のいずれにもあてはまらない人」
一定以上所得者	一定以上所得者とは 「70歳以上の人および老人保健で医療を受ける人のうち、1人でも一定の所得（課税所得が145万円）以上の人同一世帯にいる人 ただし、70歳以上の人および老人保健で医療を受ける人の収入の合計が、下記の場合、申請（役場へ）により、「一般」の区分と同様になります」
	平成18年7月31日まで
	1人世帯 484万円未満
	2人以上世帯 621万円未満
	↓
	平成18年8月1日から
1人世帯 383万円未満	
2人以上世帯 520万円未満	
低所得者（注1）	低所得者とは 「同一世帯の全員が住民税非課税で、その世帯の判定対象者の各所得が必要経費・控除を差し引いたときに0円となる人」
	平成18年7月31日まで
	年金の所得は控除額を65万円として計算
	↓
平成18年8月1日から	
年金の所得は控除額を80万円として計算	
低所得者（注2）	低所得者とは 「同一世帯の全員が住民税非課税の（上記、低所得者）にあてはまらない人」

判定は、毎年所得が変わりますので、前年の課税所得によって毎年改正されます。

誰もが「健康で明るい幸せな生活」を望んでいます。長い人生には思いがけない病気やケガにみまわれ、苦しむことがないとはかぎりません。そこで誰もが安心して医療を受けられるようにと始まった国民皆保険制度。けれども、急速な高齢化に伴って医療費が予想以上に膨れあがっている現状のなか、将来を見据え、私たちがみんなで支え合う医療制度の見直しが必要となってきました。

### 改正の概要

改正は、大きく分けて五つ。平成18年八月一日現

在、所得区分に応じて自己負担割合などが異なりますが、その「所得区分を判定する基準」が変わります。ほかに「自己負担割合・自己負担限度額」「出産育児一時金」「人工透析を要する上位所得者」「療養病床への入院に伴う食費と居住費」が変わります。

今月は、町民の皆さんの暮らしにかかわりの深い、国民健康保険（国保）と老人保健の自己負担割合と自己負担限度額、それを判定する基準の改正をお知らせします。

## 経過措置

所得区分が上がる人には経過措置がある場合があります。（平成18年8月から2年間）申請が必要となります。

### 経過措置（公的年金等控除見直し・老年者控除の廃止に伴うもの）

判定基準表の一定以上所得者に該当する人で、下記の表のいずれかにあてはまる人については、医療費が高額になったときの自己負担限度額は「一定以上所得者」ではなく「一般」の所得区分に適用されます。

課税所得	145万円以上213万円未満	
収入の	1人世帯	383万円以上484万円未満
合計金額	2人以上世帯	520万円以上621万円未満

### 経過措置（老年者に係る住民税非課税措置の廃止に伴うもの）

世帯員のうち一部が住民課税になっても、合計所得金額が125万円以下で昭和15年1月1日以前生まれの人だけの世帯の場合は、同一世帯内の非課税者は申請により、医療費が高額になったときの自己負担限度額および食事の標準負担額が「低所得者」の所得区分に適用されます。ただし、老齢福祉年金受給者は「低所得者」の所得区分に適用となります。

## 70歳未満のみなさんへ

以下の文面の上位所得者とは「基礎控除後の総所得金額などが670万円を超える世帯」

## 高額療養費の自己負担限度額が変わります

同じ月内に医療機関に支払った自己負担額の合計が高額になった場合、70歳未満の人は下表のように自己負担限度額が一部引き上げられます。

## 平成18年 9月30日まで

## 自己負担限度額（月額）

	3回目まで	4回目以降
一般	72,300円 + (総医療費 - 241,000円) × 1%	40,200円
上位所得者	139,800円 + (総医療費 - 466,000円) × 1%	77,700円
住民税非課税世帯	35,400円	24,600円

## 平成18年10月 1日から

## 自己負担限度額（月額）

	3回目まで	4回目以降
一般	80,100円 + (総医療費 - 267,000円) × 1%	44,400円
上位所得者	150,000円 + (総医療費 - 500,000円) × 1%	83,400円
住民税非課税世帯	35,400円	24,600円

## 出産育児一時金が変わります

被保険者が出産したときに受けられる出産育児一時金の支給額が変わります。

平成18年 9月30日まで	平成18年10月 1日から
1児につき 300,000円	1児につき 350,000円

## 人工透析を要する上位所得者の自己負担限度額が変わります

高額の治療を長期間継続して行う必要がある疾病の場合で、慢性腎不全で人工透析を要する上位所得者については、自己負担限度額が引き上げられます。

平成18年 9月30日まで	平成18年10月 1日から
10,000円	20,000円

## 70歳以上のみなさんへ

## 一定以上の所得がある人の自己負担割合が変わります

70歳以上または老人保健で医療を受ける人のうち、判定基準表の「一定以上所得者」に該当する人は自己負担割合が引き上げられます。ただし、「一定以上所得者」以外の人は1割負担のままです。

平成18年 9月30日まで	平成18年10月 1日から
2割	3割

## 高額療養費（高額医療費）の自己負担限度額が変わります

同じ月内に医療機関に支払った自己負担額の合計が高額になった場合、70歳以上または老人保健で医療を受ける人は下表のように自己負担限度額が一部引き上げられます。

## 平成18年 9月30日まで

## 自己負担限度額（月額）

	外来 (個人単位)	外来 + 入院 (世帯単位)
一般	12,000円	40,200円
一定以上所得者	40,200円	72,300円 + (総医療費 - 361,500円) × 1% (4回目以降の場合は40,200円)
低所得者	8,000円	24,600円
低所得者		15,000円

## 平成18年10月 1日から

## 自己負担限度額（月額）

	外来 (個人単位)	外来 + 入院 (世帯単位)
一般	12,000円	44,400円
一定以上所得者	44,400円	80,100円 + (総医療費 - 267,000円) × 1% (4回目以降の場合は44,400円)
低所得者	8,000円	24,600円
低所得者		15,000円

## 療養病床に入院する場合の食費・居住費の負担が変わります

療養病床に入院する70歳以上の人は、食費と新たに居住費を負担することになりました。

平成18年 9月30日まで	平成18年10月 1日から
食材料費相当を負担 24,000円	食費 42,000円 居住費 10,000円

ただし、所得の低い人は負担が軽減されます。

住民税非課税世帯	30,000円
年金受給額80万円以下等	22,000円
老齢福祉年金受給者	10,000円

# 平成18年度 施政方針項目別主要施策抜粋

## 商工業

時代に対応した感覚・ニーズ・経営能力の育成  
経営体質の改善及び強化

## 観光

文化遺産である「サンゴの石垣」や野生のユリ、渡り蝶アサギマダラ等、本町の恵まれた自然を生かした観光誘致

## 各公園施設整備

施設の維持補修と適正な管理



「砂浜に青い空、潮風もさわやかな「スギラビーチ」」

## 地籍調査事業

実態調査の実施  
早町地区、佐手久地区、志戸桶地区、荒木地区、赤連地区の各一部の実施

## 自然保護

本町の恵まれた自然環境の中で自生している植物の再生・保全・保護

## 高齢者福祉

地域包括支援センターの創設、専門職員の養成  
サービス供給体制の整備  
地域支援事業創設  
介護予防事業による重度化の抑制



## 障害者福祉

重度心身障害者医療費助成事業、施設訪問旅費助成事業、心身障害者福祉金の支給

障害者自立支援法に基づく身体障害者補装具、日常生活用具給付事業の実施  
社会福祉法人「緑喜会」、精神障害者施設「ほつと館」の運営の支援

## 児童福祉

子育て支援センターを中心に地域における子育て支援サービスの充実  
児童虐待防止への取り組みの充実  
児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当などと併せて制度の啓発や適正

国民健康保険・老人医療事業  
生活習慣病の予防をはじめとした各種保健事業の取り組み

生活環境改善・公共用水域の水質改善施設「水質浄化センター」

## 集落

### 下水道

公共下水道事業受益区域の拡大  
湾地内  
公共枘への接続に対する啓発

### 農業集落排水事業

供用開始されている3地区の加入率向上

### 合併浄化槽事業

地域性や経済性を考慮しながら汲み取りや単独浄化槽から合併浄化槽への促進

### 交通基盤整備

喜界島循環線特殊改良一種工事  
花良治・早町・荒木地区

### 港湾及び漁港整備

手久津久地区は防波堤(沖)志戸桶地区防波堤(沖)の整備  
荒木漁港沖防波堤整備継続と新たに西防波堤と用地の改良

### 水産業

### 水産業

種苗放流(シラヒゲウニ)やイカシバの投入事業の継続

### 生活環境衛生

ゴミ処理費用の適正な負担  
町民一人一人の認識と理解を求め循環型社会形成推進基本法に基づく環境づくり

### 基幹改良事業

池治・羽里集落・東部地区の早町を中心に塩道・白水





「イカシバ」を設置してミズイカの産卵場所を確保する



平安時代(9~10世紀)と12世紀代の2つの時期が中心と思われる大規模な集落跡「城久遺跡群」

栽培漁業および養殖漁業の規模拡大

公営住宅

地域再生計画を策定し、耐用年数が経過している公営住宅の建替

学校教育

学力水準の向上  
・基礎・基本の確かな定着と  
・習熟度別学習や発展的学習、補充指導など個に応じた指導の実践

心の教育の充実  
・生命や人権を尊重する心、  
・他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、郷土愛など道徳性を備えた児童生徒の育成  
・体力・運動能力の向上  
・児童生徒の実態を的確に把握し、その課題解決を目指した取り組み

『体力向上実践事業』の研究実践の深化・充実

人権同和教育の充実

・自分を大切にするとともに他者の人権を尊重し、共に生きていく『共生』の心の育成  
・「食農教育」の充実  
・農業活動体験、施設見学、調理加工体験学習、給食センターおよび栄養士との連携

給食センター  
・施設・設備の改善を図り衛生管理を徹底、学校給食の事故防止  
・生徒指導の充実  
・積極的な生徒指導の推進

・学校・家庭・行政が一体となつて生徒指導の課題解決  
・中・高一貫教育の推進  
・『郷土に誇りをもち、郷土を愛し、自ら人生を切り拓

く児童・生徒の育成』に向けて、中・高一貫教育の円滑な推進

幼児教育の充実  
・異年齢で編成する学級に十  
・一名以上の園児が在籍する場合の補助職員を配置

・「預かり保育」を実施  
・喜界島らしい教育の推進  
・喜界島の産業・経済・歴史・文化等についての理解の深化に関わる教育活動の支援

小規模校の活性化  
・小規模校同士の交流学習や規模の大きな学校への体験学習が円滑に推進  
・「小規模校入学特別認可制度」を継続  
・学校安全の確保  
・不審者対策や登下校の安全確保  
・校内外における怪我事故等

の防止に向けた指導

教職員のサービスの厳正確保と資質の向上

サービスの厳正確保・教師の職業感の高揚と指導力の向上

開かれた学校づくり

学校評議員制度の活性化や地域の学校支援組織の拡充

施設の整備  
・体育館の設計委託  
・第一中学校

社会教育

生涯学習推進体制の充実

生涯学習リーダーの育成、図書館の館外活動の促進

各年齢層に応じた学習機会の拡充

・学校施設・設備の開放促進  
・町図書館のネットワーク化の推進

・地域の人材活用の促進  
・ライフステージに対応した学習機会の拡充

・学習歴活用環境づくり  
・生涯学習推進会議の充実、

・社会教育有志指導者の養成  
・家庭教育・成人教育の充実

・高齢者学級、PTA指導者研修会、町総合家庭教育学級、成人教育の充実

・地域ぐるみによる青少年教育の充実

・ジュニアリーダー研修会、

町子ども会ものづくり教室

等、青少年活動の充実

文化活動の充実と文化財の保護

・郷土の伝統文化の継承、文化財愛護思想の普及・啓発

・山田・城久遺跡の発掘調査の継続と出土遺物の整理保管作業などの拡充

・社会体育の充実

・各種講習会や競技会の開催、対外試合への選手派遣

施設・設備の充実  
・町民の健康増進とスポーツ

に対するニーズに応え、現在ある施設の整備・補修

8月28日～9月3日

全国一斉「子どもの人権110番」強化週間

いじめ、体罰児童虐待等をはじめとした子どもをめぐる人権問題については、周囲の目につくにくいところできていることが多く、被害者である子ども自身も、身近な人に話しにくいといった状況があります。法務省では、このような状況に対応するため、専用相談電話「子どもの人権110番」(ナビダイヤル0570-070-110)を設置しています。

Town まちの話題 News

# スギラビーチで愛誓う

## 東京在住の 大山文男 さんが人前婚 加藤和子



会人となって祝う人前結婚式があった。  
拳式したのは、東京在住の大山文男さん（伊実久出身）と加藤和子さん（福岡出身）の二人。文男さんは「海の青さと夕日がかきれいなロケーションも式場に決めた理由のひとつ。自分たちなりの結婚式を挙げたい」と故郷での拳式を決めた。

島の景勝地「スギラビーチ」で七月二十二日、来場者が立係者ら七十人に見守られなが

式では、結婚宣誓、指輪の交換、和子さんの幼い頃からの夢「お手製のウエディングケーキの入刀」など、親族間のウエディング



喜界町ゲートボール協会主催の「第一回世代間交流ゲートボール」

## 老若80人が一緒にプレー

が七月二十八日、町総合グラ

第一回世代間交流ゲートボール ウンドで開催された。老人と子どもたちがゲートボールを通じて交流することで青少年の健全育成を目的とする。当日は、小・中高

校生四十九人、協会の会員

ら三十一人が参加した。

子どもたちは、燦々と降り注ぐ真夏の太陽の下、協会のメンバーからルールや打ち方の手ほどきを受けながら老若一緒にプレー、暑さにも負けずゲートボールを楽しんだ。



## 今年も8人を派遣

子ども

スポーツ大使

喜界町子どもの体力向上実践事業の一環として鹿児島市

ら永遠の愛を誓った。文男さんは、東京都の伊豆七島をホームグラウンドに釣り

を楽しみ、和子さんは、毎年の梅酢作りを趣味としている。

小中学生陸上競技大会に参加した。八人は、活動を通して体験したことなどを地元の子どもたちに伝える。

の子どもの学習の様子を見学し、これからの家庭学習習慣に役立てる目的で派遣する、子どもスポーツ大使。事業最終年度となる今年度は、昨年と同様、本町の小学生八人を派遣大使として任命し、七月十五日から三日間、鹿児島市の学習塾や鹿児島実業高校サッカー部を訪問する一方、県内各地から参加する南日本

派遣大使「三浦大輝（湾小）、来龍平（同）、前底勇輝（同）、生田千秋（上嘉鉄小）、実田未沙（同）、善原武士（荒木小）、川畑奈々（滝川小）、米盛幸汰（早町小）  
南日本小中学生陸上競技大会結果  
八百タイムレース 三浦「優勝 来」四位入賞 走り高跳び 生田「五位入賞 ソフトボール投げ 米盛「四位入賞

## 犯罪・非行防止呼びかける

社会を明るく

する運動

昭和二十六年、東京・銀座の商店街の人たちの活動がきっかけで、現在も活動が続



けられている「社会を明るくする運動」。今年で五十六回目を迎えた七月六日、北大島保護区喜界支部の保護司・西俣理介さんほか四人が役場を訪問し、法務大臣と鹿児島県知事が発した「犯罪・非行の防止と更生の援助のため、地域住民の理解と参加を求め」メッセージを藤村昭五助役に伝達した。また、一行は学校や建設会社などを訪れ、運動への協力を呼びかけた。

# 短歌や八月踊りを学ぶ

## 第二回奄美ミュージアム人材育成塾



志戸桶十五夜会による第二部講義は「八月踊りを踊ろう」。当日参加した会員十五人が志戸桶集落に伝わる全十二曲の中から代表四曲を踊り、曲の説明や踊られている場所など、詳しく解説した。講義の最後には、参加者全員で六調を踊り、にぎやかに締めくくった。

第二回奄美ミュージアム人材育成塾が七月十四日、町コミュニティホールで開催され、塾生二十五人が参加した。講師は、東京から喜界島へUターンしてきた武田幸子さん（喜界歌壇）と、志戸桶十五夜会（伊牟田正子代表・会員五十人）が務めた。武田さんは第一部講義を担当。「喜界島の四季を詠む」と題して三十一文字で表現する短歌の数々を紹介しながら、生まれた島に対するいつまでも変わらない思いや自然の大切さを訴えた。

小野津のウミンチユで構成するシーマスターズと、小野津校区の小・中・高校生、早町中学校校区の教職員が小野津漁港に集い、七月二十二日、恒例の追い込み漁で交流を深めた。

## 追い込み漁で交流 シーマスターズと児童ら



海はあいにくの時化模様で、「子どもたちの安全を優先」して堤防の中での挑戦となったが、子どもたちは元気に大人と漁に励んだ。

漁のあとは早速、共同作業で捕った「エラブチー、フック」の新鮮な料理を囲み、集落民も車座の輪に入つて親睦を深めた。



## サトウキビの夏植えで パワーアップ研修

佐藤貴紀教諭（第二中）

教職員は、在職十年目に、自己を見つめる機会として「パワーアップ研修」地域貢献を受けることなっている。佐藤貴紀教諭（第二中学校）も研修を受けた一人。佐藤教諭が研修に選んだのは、本町の基幹作物「サトウキビ」の夏植え。七月二十五日から三日間、前島勇一郎さん（上嘉鉄）の夏植えを手伝った。写真（手前左が佐藤教諭）が、日差しが強い中、苗取りから植え付けまでの作業は、さすがにこたえたようだ。



「仕事には段取りが大事」と研修を振り返る佐藤教諭に、研修を受け入れた前島さんは「なかなか筋がいい。トラクターのオペレーターなどは上手」と評価した。

## 今後は

### 自立自興目指す

#### 町地域婦人会連絡協 「行政と語る会」

喜界町地域婦人会連絡協議会（吉本敏子会長）主催の「行政と語る会」が六月二十八日、町コミュニティセンター多目的ホールであり、会員四十人が参加した。会員らは、ゴミ収集、公園・公共施設整備（公園）、農産物加工施設等の生活に直面する諸問題を取り上げて意見や要望を述べ、町長や各課長に率直な回答を求めた。

吉本会長は、「婦人会活動は会員の減少、働く女性の増加、個々の価値観の違いなど問題を抱えている」と婦人会の厳しい現状を訴えた。そして、「今までは行政に全部おんぶしてきたが、これからは様々な活動を展開しながら自立自興を目指す」と二時間半に及ぶ会を締めくくった。



川畑さんが考案したのは、直径五十センチ、高さ三十センチの円筒形で、金網と透明チューブを組み合わせた可動式のカミキリムシ食害防止装置。樹木の根元に設置し、飛来したカミキリムシを金網で侵入阻止する。また、根元に生えた草なども容易に除草できる。現在、特許出願中とのこと。

島では、市販の防鳥ネットなどを加工して対策を講じているが、なかなか完全防除には至っていないのが現状である。

### 効果はてきめん／

島のかんきつ類を食い荒らす厄介な病害虫「キボシカミキリムシ」(体長二〜三センチ)を防除しようと花良治在住の川畑和美さんが防除装置を開発した。

川畑和美さん(花良治)が考案  
只今、特許出願中

### 森岡齊四郎氏に

### 紺綬褒章

「喜界町新庁舎に  
高額の寄付」



加藤啓雄町長は、七月四日、喜界町に高額の寄付をされた森岡齊四郎氏の「紺綬褒章伝達式」に沖縄県読谷村役場を訪れ、個人または団体に贈られる最高の荣誉である「紺綬褒章」を直接伝達した。

紺綬褒章は、「公益のために私財を寄付した個人または団体を顕彰する」もの。同氏は新庁舎建設に伴う高額の寄

付「広報きかい」六月号で紹介をしたことで、褒章条  
例に基づき授与の申請が認められた。



峰山建設(老人施設などの除草)



大福電設(独居老人の電気点検・洗浄)



喜界幹部派出所(観光施設の清掃)



## ～空き缶拾いや清掃・除草～

# 島内各地でボランティア

校長・教頭連合会(空き缶拾い)



第一中学校(夏祭りの後片づけ)



安全協会婦人部(空き缶拾い)

# お知らせ

## 犬や猫の引き取り有料化

犬や猫などのペット動物は、終生飼養が基本原則です。やむを得ず飼えなくなった場合は、自らの責任で新しい飼い主を探してください。

どうしても新しい飼い主を見つけれなかった場合に限り、鹿児島県ではこれまで無料で引き取りを行ってきた。しかし、みだりな繁殖の防止等、動物愛護の観点から所有者責任の徹底を図るため、有料化することになりました。また、犬や猫などの動物を捨てた場合、五十万円以下の罰金に処せられることがあります。

### 実施時期

- 平成18年10月1日
  - 犬の引き取り手数料(一頭)
    - 生後91日未満(400円)
    - 生後91日以上(2000円)
  - 猫の引き取り手数料(一頭)
    - 生後91日未満(200円)
    - 生後91日以上(1000円)
- 問い合わせ先

名瀬保健所喜界町駐在  
 ☎65・3018  
 喜界町役場住民課  
 ☎65・1111

## 高齢者・障害者の財産管理 福祉の何でも無料相談会

認知症や知的障害のある方々のこれからの財産管理、介護(保険)、福祉サービスなど、不安をお持ちの方を対象に暮らしに役立つ「講習会」と「無料の相談会」を開催します。

この相談会は、司法書士、社会福祉士などの専門家が、当日無料で相談を受け付け、助言を行います。相談内容は秘密厳守されます。

日時：9月30日(土)  
 講習会：午前10時～正午  
 相談会：午後1時～4時

場所：喜界町老人福祉センター

問い合わせ先

(社)リーガルサポート鹿児島支部  
 (鹿児島県司法書士会事務局内)  
 ☎099(251)5822

## 児童家庭相談窓口

家庭におけるしつけ、性格の問題、不登校、非行、その

他の問題および心身障害相談など、気軽ににご相談ください。

## お詫びと訂正

「広報きかい」7月号に掲載もれと誤りがありました。以下のとおり訂正してお詫びします。

- P8「シルバー人材センター」
- ☎(55)3633
- P15「喜界歌壇」
- 「中尾チヨ」「平尾チヨ」
- P16「元氣な喜界っ子」
- 「沼和寿喜」「菅沼和寿喜」

相談窓口/役場保健福祉課  
 ☎65・1111(内線37)

## 町村合併五十周年記念シンポジウムの開催決定

町村合併五十周年記念シンポジウム「未来へ - 50年後の喜界町」を平成18年9月10日(日)、喜界町コミュニティセンターで開催いたします。

町村合併50年の節目を迎え、町では数々のイベントを展開しています。その一環として、「50年後の喜界町の姿」と題して、久岡学氏(南海日々新聞社)の基調講演や小学生・中学生たちの未来へのメッセージ朗読、将来の喜界島の展望についてのパネルディスカッションを行います。多くの町民の参加をお願いします。

- ・開場・受付/12時30分
- ・開会/13時00分
- ・基調講演/13時15分
- ・未来へのメッセージ/14時25分
- ・パネルディスカッション/14時55分
- ・会場内意見交換会/15時55分(20分間)
- ・閉会/16時30分

## 平成18年度自衛官等募集案内

募集種目	資格	受付期間	試験期日	募集人員	合格発表
防衛大学校学生	推薦 高卒(見込含) 21歳未満の者 推薦については高等学校長の推薦等が別途必要です。	9月5日～9月7日	9月23日・24日	人文・社会科学専攻 約20名 (うち女子約5名) 理工学専攻 約80名 (うち女子約5名)	11月9日
	一般 高卒(見込含) 21歳未満の者 (自衛官は23歳未満)	9月8日～9月29日	1次11月11日・12日 2次12月12日～15日	人文・社会科学専攻 約65名 (うち女子約5名) 理工学専攻 約295名 (うち女子約20名)	1次 12月6日 最終19年2月16日
防衛医科大学校学生	高卒(見込含) 21歳未満の者	9月8日～9月29日	1次11月4・5日 2次12月6～8日	約75名	1次 11月28日 最終19年2月16日
看護学生	高卒(見込含) 24歳未満の者	9月8日～9月29日	1次10月15日 2次11月18・19日	陸 約70名	1次 11月1日 最終19年1月10日

詳細につきましては、役場総務課(65-1111)または、自衛隊鹿児島地方連絡部大島事務所(53-9103)までお問い合わせ下さい。

# 教育委員会のとびら

## スクールガードの心得や護身術学ぶ 学校安全ボランティア伝達講習会



ビデオを見ながら熱心に聴講する参加者

三十八人のスクールガードが一堂に会して、スクールガードとしての心得、役割等について講習を受けました。

また、名瀬警察署喜界幹部派出所員による実技(護身術)もあり、万が一、事故に巻き込まれたときの防衛術も学びました。「危険を感じたら自分で解決しようと思わず、まず警察などに連絡する

スクールガード伝達講習会が六月二十六日、役場コミュニティセンターで開催され、各小学校から推薦された

ことが大事。普段からの巡回活動、声かけ運動が事件・事故の抑止力になる」という講

## 夏休みを前にKYT講習会開く

子ども会活動が活発になる夏休みを前に、町子ども会育成連絡協議会と教育委員会がタイアップして、KYT(危険予知トレーニング)講習会を開催。各単位子ども会長と育成会長を対象に、野外活動や海浜活動が増えるシーズンに向け、いろんな場面を想定して危険からの回避を考える講習で、併せて心肺蘇生法も学びました。出席者は「できれば、心肺蘇生を実践することがない方がいい」と言いつつ熱心に



最後にグループで作成したスローガンを発表する参加者

習の締めくくりに言葉に参加者は、スクールガードとしての重責を感じたようです。

### 実践していますか？

第2分科会  
潤いと安らぎのある  
まちづくり部会

「おはよう、こんにちは、さようなら」のあいさつをします。

あいさつは人間関係の潤滑油とも言われます。町内に明るくあいさつが満ちあふれるよう、笑顔であいさつし、明るい社会を築きましょう。  
・生涯学習推進実践事項

## 第60回県民体育大会 第47回大島地区大会 に141人が参加

台風3号が接近するなか、標記大会が七月八・九の両日、奄美市で開催されました。本町から十競技に百四十一人の選手団が参加しました。結果は次の通り。

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| ・ サッカー (5位)    | ・ バドミントン男子 (2位) |
| ・ 軟式野球 (5位)    | ・ バドミントン女子 (3位) |
| ・ バスケツト男子 (3位) | ・ ソフトボール男子 (2位) |
| ・ バスケツト女子 (3位) | ・ ソフトボール女子 (2位) |
| ・ ゲートボール (5位)  | ・ ソフトテニス男子 (3位) |
| ・ ゴルフ (5位)     | ・ ソフトテニス女子 (3位) |
| ・ 男女総合 (7位)    |                 |
| ・ 女子総合 (6位)    |                 |



決勝戦で奄美市に惨敗した男子ソフトボール

躍進 5位

## 「南西諸島における低い島々の水事情」特別講演

「南西諸島における低い島々の水事情」と題する長沼信夫駒澤大学文学部教授の特別講演が七月六日開かれ、専門の非火山地域の温泉開発や地下水の話に参加者は聴き入っていました。長沼教授は、七月三日から七日まで地理学調査のため学生十三人と来島。何度か来島され、知合いも多いこともあって、ご多忙のなか快く了承して下さいました。

## 「早寝・早起き・朝ごはん」国民運動

日本PTA全国協議会では心身共に健康な子どもたちの育成を目指し、「早寝・早起き・朝ごはん」国民運動を推進しています。子どもたちの正しい生活リズムを地域全体でよくくめる社会をつくりましょう。

# わが家のアイドル



よねくら さくら  
**米倉 咲良ちゃん** (4歳)  
父 = 智幸 母 = 夏美 <赤連>

笑っている時は、天使のようなわが家の宝子。なのに、ひっくり返り、足をバタつかせて大声で泣く姿は、アイドルにはほど遠い……。でも、きみの笑顔を見ていると幸せになるよ。手をやくことも多いけど、きみといると毎日楽しいよ。

## 野間の

なま 慎也くん (3歳3カ月)  
ぬまと 隼人くん (1歳11カ月)



父=貴也 母=靖子 <赤連>  
二人のおはようの声で賑やかな一日が始まります。トラクターとハーベスターが大好きな長男。何でも兄貴の真似をしたがる二男。二人とも水遊びが大好きで、きゃっきゃと体いっぱい喜んでいきます。弟は時に兄貴におもちゃを奪われても、すぐに次のおもちゃを見つけて遊びます。これからも、兄弟仲良く元気で育ててほしいです。

## 喜界歌壇

風の行方追いて佇む昼下り頭  
上に暑き雲流れゆく  
林 蓮香

酷暑をも厭わずキビを植え付けし力みなぎる若き日思う  
有村 道子

大雨の災害各地を襲いても我ら事なし南の島に  
竹田ヨシ子

耐えがたき酷暑に克つと今朝もまづ水草活けて涼風を呼ぶ  
平尾 チヨ

さざ波の寄する海辺に憂さ晴らす過ぎし喜界の生活を思う  
屋良ミノ子

この暑さに百日紅なおふさふさと色濃く咲きて吾を励ます  
美代 イシ

早雲茜さしつづつ崩れいて沁むばかり暑き蟬の夕声  
郡 市子

梅雨明け南風吹き抜ける季となる家内にも暑さおぼえず  
弥島 幸子

夕波の素足を洗う海に来て一日の暑さとき放ちゆく  
武田 幸子

処暑過ぎて風の渡れる夕つ方ゆづなな花は音たてて落つ  
嶺倉 祝子

## 戸籍の窓

7月届出

こんにちは 赤ちゃん

氏名	保護者	住所
南 悠仁	昭二	志戸桶
大山 雅美	成治	嘉 鈍
基井 翔真	義則	嘉 鈍
芝山 里央	静男	小野津
濱井 友里	公生	赤 連
友里 杏香	正人	荒 島
東 杏香	豊一	荒 島
益田 夏輝	豊一	荒 島

いつまでも お幸せに

氏名	住所
笹田 昌利	湾
稲留 奈々	湾
中原 雄二	湾
鳥越 友美	中里
(以上2組6月届出)	
廣岡 信仁	上嘉鉄
妹尾 智子	上嘉鉄
杉俣 紘二郎	荒木
夏目 美江子	湾
竹島 信一	福岡市
生田 実佐	上嘉鉄

.....喜界町の推計人口.....  
(平成18年7月31日現在)

世帯数	3,773戸 (-2)
人口	8,515人 (-3)
男	4,011人 (+2)
女	4,504人 (-5)

( )は前月比

ごめい福を お祈りします

氏名	住所	年齢
池 治	久原	88才
白 水	勇	84才
嘉 鈍	新島	89才
小野津	宮田	89才
嘉 里	大谷	92才
中 里	勝	78才
中 里	福留	84才
赤 連	砂川	88才
川 嶺	朝崎	87才
早 町	岡田	89才
早 町	中川	83才
早 町	菊枝	89才
早 町	たつ	89才
早 町	良子	87才
早 町	とみ	88才
早 町	スマ	84才
早 町	ツギ	78才
早 町	キヨ	92才
早 町	イシ	89才
早 町	ツル	89才
早 町	トシ	84才
早 町	タケ	88才

社協だより 香典返し 伊実久 岩本 利治 實



夏はやっぱり  
祭だね!



昨年の雪辱を果たした峰山建設（一般）



猛練習で初の栄冠の高岡建設（混成）



大会2連覇ママさんバレー（女子）